



くまのみ通信

-中谷外科病院広報誌-



中谷外科病院の理念 患者様とともに歩む

第40号
2017年1月発行

発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳

〒706-0001
玉野市田井 3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486

ホームページ
<http://www.nakatani-hosp.jp>
Eメール
Goiken@nakatani-hosp.jp

外来診療時間
月～金 9:00 ～ 12:00
15:30 ～ 18:30
土 9:00 ～ 12:00

<中谷外科病院 基本方針>

- I :常に患者様の立場に立ち、行動する。
- I :消化器内視鏡、大腸肛門病の専門病院として最新・最善の医療を提供する。
- I :多職種間によるチーム医療の充実をはかる。
- I :在宅復帰を支援し、社会に開かれた地域医療を行う。
- I :職員同士の和を重視し、思いやりのある医療を実践する。



外来診療表

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。
 昨年は病院開設50周年となる節目の年でした。これまで当院を支えてくれた職員・患者様・関係各位への感謝の気持ちを再確認させていただき、初心に戻って新たな一歩を踏みだそうと決意した次第です。岡山大学医学部消化器外科の先輩である坂田龍彦先生が1月から常勤医として赴任されたことで、診療面が大きくパワーアップしました。実績として肛門疾患、ソケイヘルニアを中心とした手術が約90件、上部・下部消化管内視鏡検査数が1,600件強と昨年よりもぐっと増加し、検査・手術の質も高くなったと自負しております。これからも更に研鑽を積み、よりそのクオリティを高めて行く所存です。
 51年目の今年は4月に電子カルテ導入、10月に病院機能評価更新を控えています。IT、第3者評価を活用することは、患者様により良い医療サービスを提供するための絶好の機会になると考え、前向きに取り組んで行こうと思っております。
 「患者様とともに歩む」という当院の理念は今年も変わることなく、職員の和を大切に、常に患者様の立場に立ったチーム医療を行って参ります。引き続き御指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。今年が皆様方にとり幸多き1年となるよう祈り、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成29年1月吉日

医療法人 吉備会 中谷外科病院
理事長・院長 中谷紳



平成29年度モットー

診療部 : 患者情報共有強化
 看護部 : 患者情報の共有化と部署間の連携を密に
 薬剤部 : 確実に日常業務を行う
 栄養部 : 病院機能評価更新を实のあるものへ
 放射線科 : 電子カルテ導入を成功させる
 リハビリ部 : 機能評価の更新、電子カルテのスムーズな運用
 地域連携室 : スムーズな電子カルテの導入を目指す
 事務部 : 電子カルテ・機能評価更新に向けて積極的に全員参加
 居宅介護支援事業所 : 地域包括支援センターとの連携を充実させる

午前：9～12時					
月	火	水	木	金	土
中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨	中谷 亨
中谷 紳	中谷 紳	中谷 紳	中谷 紳	中谷 紳	坂田龍彦 第1.3.5
坂田龍彦 第1.3.5	坂田龍彦	坂田龍彦	西 英行	坂田龍彦	西 英行 第2.4
本後登志江 第2.4		石川 隆	鈴木健夫		杭瀬 崇
重安 邦俊					
午後：15時半～18時半					
月	火	水	木	金	土
重安 邦俊	中谷 紳	坂田龍彦	中谷 紳	坂田龍彦	午後休診

過去20年間に当院で診断した消化管悪性腫瘍症例の検討

院長 中谷紳

<はじめに>

当院では上部・下部消化器内視鏡を活用し、消化管悪性腫瘍の早期診断・治療を積極的に行っている。今後の診療に生かすため、今回過去20年間に当院で診断した消化管悪性腫瘍のうち食道・胃・大腸癌症例を中心に検討した。

<対象>

平成9年1月から平成28年12月までの20年間に当院で施行した約3万件の内視鏡検査を受けられた方(上部19,556、下部10,040件:図1)のうち、病理診断の得られた消化管悪性腫瘍症例。

<結果>

- 胃悪性腫瘍は計206例(図2)で、平成12-14年頃をピークに減少傾向にあり、早期胃癌140、進行胃癌58と早期癌が進行癌の約3倍に及んだ。組織型は高分化腺癌95、中分化腺癌84、印環細胞癌29、悪性リンパ腫5その他3件だった。男性153、女性67と男性が女性の2倍以上を占めた。
- 大腸癌は238例(図3)で、増加傾向が見られた。早期大腸癌109、進行癌115とほぼ同数で、男女比も男性122、女性113とほぼ同数だった。組織型は殆どが分化型腺癌で、未分化がん2、印環細胞癌1、粘液癌2、その他5件だった。
- 食道癌は計23例で、早期癌14、進行癌9だった。男性21、女性2とほとんどが男性だった。組織型は扁平上皮癌22、中分化腺癌(バレット食道癌)1例だった。
- 内視鏡被験者の平均年齢は平成5年58.5才、28年73.5才と人口の高齢化を反映する傾向が見られた(図4)。胃癌症例も次第に高齢化しているが、大腸癌ではこの20年間にあまり変化が見られなかった(図5)。

<考察>

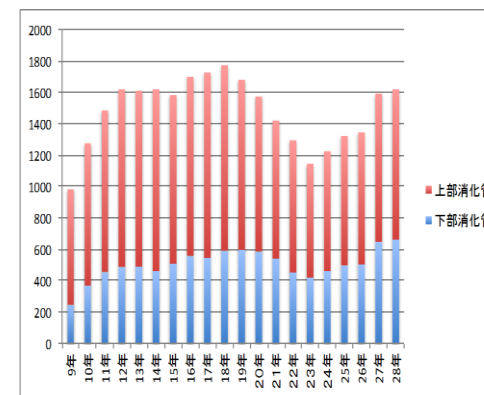
食道14、胃140、大腸癌109と早期癌が多く発見されたことは、この地域における消化管癌死亡の減少に繋がったと思われる。当院では内視鏡的に切除可能な早期癌は当院で治療し、進行癌は岡山大学病院など高次医療機関と連携して治療にあっている。胃癌症例の減少、高齢化はピロリ菌除菌が進み、若年層の患者が減少していることに起因し、逆に大腸癌症例が増加し平均年齢に変化がないことは、広い世代で大腸癌が急増している現状に一致し、早急な対策が必要と考えられる。

<結語>

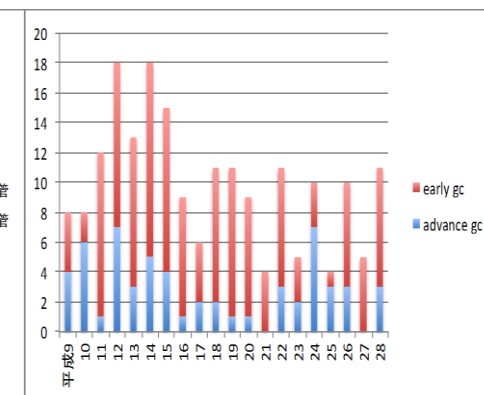
大腸癌が急増する現在、早期発見・治療のため精通し、今後も内視鏡チームとしての専門性を生かして地域医療に貢献していきたい。



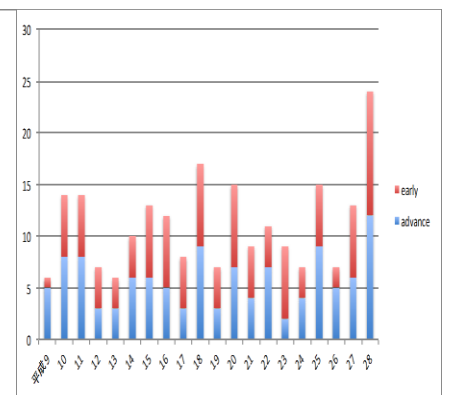
(図1)内視鏡件数の推移



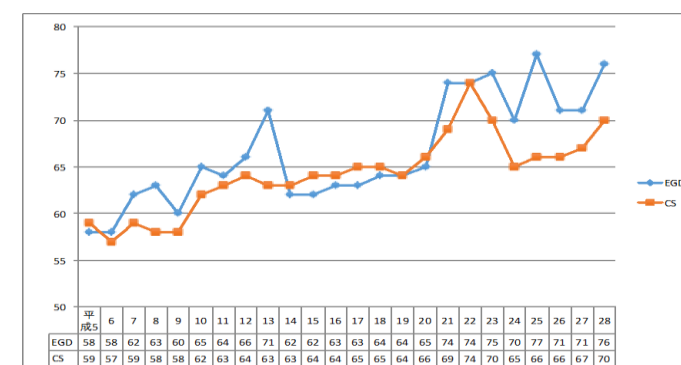
(図2)胃悪性腫瘍症例



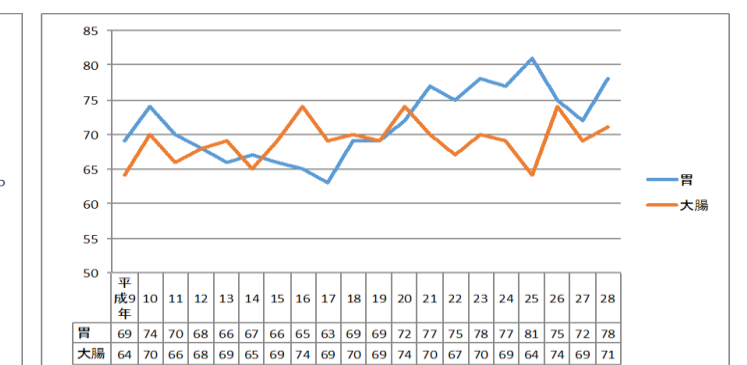
(図3)大腸悪性腫瘍症例



(図4)内視鏡被験者平均年齢



(図5)胃癌・大腸癌症例平均年齢の推移



地域連携研修

11月の1か月間、地域医療研修でお世話になりました。慣れない外来業務などで戸惑うことも多くありましたが、職員の皆様や患者様が本当にやさしく接してくださり、また、院長先生をはじめとしてユーモアのある方が多く、楽しく研修ができた1か月間でした。



中谷外科病院では高齢で長期に通院されている患者様が多く、病院職員の皆様も患者様の生活まで知っていたり小さな変化にも気づいたり、日々の生活の中で病院が果たす役割が大きいと感じ、地域における病院の重要性を実感しました。

外来や病棟業務の他にも、訪問診療やいこい荘への往診など、労災病院ではできない貴重な経験をすることができました。これらの貴重な経験を、今後の診療に役立てていければと思います。ご迷惑をおかけすることばかりでしたが、お忙しい中ご指導下さりありがとうございました。

岡山ろうさい病院 研修医 戸田 憲作

毎年秋になると、地域医療実習のため岡山ろうさい病院の研修医が1ヶ月間当院に来てくれます。平成23年から6年間で計8名の若いドクター達を受け入れましたが、皆びっくりするほど優秀で熱い若者です。彼らの存在により、僕だけでなく病院の多くのスタッフが刺激を受け、職場が活性化します。大学や基幹病院以外で若い医師と共に働けるのは、とてもラッキーなことです。

戸田先生、お疲れ様。そして有難う。これから君が臨床医として大きく羽ばたくよう皆で祈っています。

平成28年12月1日

理事長・院長 中谷 紳

50周年記念行事（東北2泊3日の旅・お食事会）

今回は50周年記念旅行と言う事で、東北2泊3日の旅に参加させて頂きました。

東日本大震災発生から5年が経ち、被災地で復興に情熱を傾ける人々の姿、再生に向けた足取りを私達が目で見ることができた意義のある旅行となりました。

語り部さんに当時の様子を聞きながら、被災地を回りました。映像でしか見たことのない震災の様子と現実との差に大きな衝撃を受けました。絶対に風化させてはいけません！そう思わずにはいられませんでした。復興にはまだ時間がかかりそうですが、人々は前を向き、生き々と生活されていました。

仙台での牛タン、南三陸の海鮮、中尊寺で食べたずんだ餅。東北は食べ物がめちゃくちゃ美味しかった～。

食べ物、景色、人々も最高。がんばっぺ東北！元気をもらった3日間でした。

事務主任 池内 良子

日時：10月21日（金）～23日（日）
行き先：仙台、松島、南三陸、中尊寺、蔵王



勉強会

認知症対応力向上研修会 第1回 病態の理解（4回シリーズ第1回）

日時：H28.11.30(水)14時から メバルサロンにて

講師：看護師長 新田照美 看護師 大塚恵美

目的：『認知症への理解を深め、対応力を向上することができる』

対象：全職員（参加者32名）

内容：事前アンケート(アンケート61枚/62枚中 回収率98%)を実施。2025年には認知症患者は全国で730万人になる予想。当院を含む一般病院でも避けて通れない問題である。認知症とせん妄の違い。中核症状とBPSD(周辺症状)への対応。アルツハイマー型、レビー小体型、脳血管性等々の病態の理解を深め、その対応力を向上できるようにすることが必要である。
* 認知症対応力向上研修受講者 看護協会 28年度中に2名参加予定(12/1現在2名)

褥瘡委員会勉強会

テーマ：摂食・嚥下機能の基礎知識

日時：平成26年12月16日(金)13時30分 2階詰所にて

対象：看護師その他コメディカル

講師：作業療法士 武智大輔

内容：「5相からなる摂食・嚥下機能の基礎的部分の再認識」
「解剖学からによる摂食・嚥下障害患者のベッド上でのポジショニング」
「嚥下機能向上を目的とした間接的訓練」



♪ エレクトーンコンサート ♪

日時：9月20日(火)午後1時15分～

演奏者：ピアノ エレクトーン講師 藤原 恭子 先生

“はなみずき” “情熱大陸” “夜空ノムコウ” 等11曲を当院用にアレンジ頂き、とても素敵な演奏を聞かせていただきました。また“ふるさと” “青い山脈” をエレクトーン伴奏で大合唱する等、とても優雅で楽しい時間が過ごせました。

藤原先生、ありがとうございました。 放射線技師 大川義弘



日時：10月15日(土)



50周年記念食事会に参加させていただきました。会場は岡山にある人気のお店。コース料理をいただいたのですが、味はもちろんのこと、食事の提供の仕方、味のある食器、落ち着いた空間、店員さんの対応など細部にわたっていろいろな工夫や配慮が施され、贅沢なひとときが味わえました。業種は違いますが、人を満足させるサービスとはどういうものかを教えて頂いた大変有意義なお食事会でした。

医療相談員 山崎早苗

スタッフのひとりごと

『言うのは恥だが役に立つ』



私には88歳の同居している母がいます。今年の春に歩けなくなったり、夏には食べられなくなったり、嘔吐したりと体調不良が続いていました。そのために病院に受診したり、介護の方々に相談したりと、今もお世話になっています。その甲斐あって回復し、以前のように元気になりました。私は日々の介護の疲れがたまり、愚痴も出たりします。そんな時、こんな言葉をもらいました。

『なかなか親を見ることはできない』

私はこの言葉で心が軽くなりました。“看なければならぬ”ではなく、“看ることができる”と見方を変えることができたからです。

テレビドラマに『逃げるは恥だが役に立つ』がありましたが、私の場合は『言うのは恥だが役に立つ』です。これからは一人で抱えず、周りの人に聞いてもらって、母とともに一日一日を笑顔で楽しく過ごしていきたいと思っています。 看護部 石本玲子

平成28年度 岡山県病院優良職員表彰



人生の半分近くを中谷外科病院で勤務させて頂いているのは、院長先生をはじめスタッフの皆様の支えがあるからこそです。このような賞を頂き、心より感謝申し上げます。今後も自己研鑽に励み、努力して参ります。

事務主任 池内 良子